

令和5年6月5日

**令和5年度
中国四国農政局技術検討会（第2回）
（国営事業再評価）**

議 事 録

事務局

（先ほどの令和5年度国営事後評価中国四国農政局技術検討会に）引き続き、令和5年度中国四国農政局再評価技術検討会を開催します。

事務局の設計課事業調整室の西村と申します。

よろしく願いいたします。

それでは、以降の議事につきましても、諸泉委員長に進行をお願いしたいと思います。

諸泉委員長

それでは、令和5年度中国四国農政局国営等事業（再評価）技術検討会の進め方について説明をお願いします。

事務局

～説明に入る前に、配布資料の確認～

～資料説明～

諸泉委員長

ただいま説明がありました、令和5年度 国営土地改良事業等再評価の進め方について、委員のみなさまにご審議を賜りたいと思います。

なお、本技術検討会についても、先ほどと同様に、公開となっております。また、技術検討会の議事概要等の扱いにつきましては、検討会終了後に公表することになっております。

諸泉委員長

特に意見はないようですので、それでは2つ目の議題、議事次第2より令和5年度事再評価対象地区の説明及び質疑について、事務局より説明をお願いします。

事務局

～資料説明～

諸泉委員長

ただいま説明のありました地区について、委員の皆様からご審議を賜りたいと思います。

河口委員

資料 4-4 の P35 について、保全対象種（事業計画）に記載されている魚種は、本地区に

元々生息しているのか。

事務局

事業着手前に環境調査を行い、保全対象魚種が生息していたことを確認している。

諸泉委員長、河口委員

生息していない魚種も記載されている。

河口委員

生息している魚種だけを記載した方がよいのではないか。

スイゲンゼニタナゴ、アユモドキは生息しているのか。

事務局

本地区の国営造成水路内には生息していない。

河口委員

カワバタモロコとか重要度が高い魚種も記載されている。

事務局

文献等から生息している魚種を、保全対象種と選定している。

都築農村振興部長

先ほど検討した「香川用土器川沿岸地区」も同じだが、計画立案時の保全対象種は、地区内の環境調査での確認だけでなく、文献調査により地域にとって代表的な希少種も対象に、周辺環境に悪影響を与えないようにという考えから、選定する場合がある。

諸泉委員長

スイゲンゼニタナゴ、アユモドキに配慮して事業を実施するとなると、相当な配慮を行った上で、事業を実施する必要がある。と、言うよりも、事業を実施することは困難と思われる。

都築農村振興部長

アユモドキが生息していればそもそも公共事業の実施はできない。

ただ生息というわけはなくて、工事実施時の濁水を排水しないように配慮するということで保全対象種を選定する場合はあるが、事業着手前の環境調査の結果と合わせて確認する。

諸泉委員長

濁水を排水するための配慮という話だが、アユモドキなど重要度が高い魚種に対して、見る人が見れば「もっとこうした対応が必要だったのでは」と誤解されると思う。

「保全対象種はこういう考え方で設定しているが、生息している魚種はこうです。」といった整理としてはどうか。

都築農村振興部長

国営事業では、第3者委員会等の審議を経て、環境配慮計画を作成することとなっており、保全対象種を選定方法も決まっているので、確認し整理する。

諸泉委員長

他にいかがですか。

駄田井委員

本地区は、小麦の作付けが多い地区であると思うが、岡山県全域と比較しても多いのか。

事務局

本地区の小麦の作付けデータは、本地区が所在する市町の統計データを集計整理したものであり、当地区のみというわけではないので、岡山県域との麦の作付け拡大と単純に比較することは難しい。

駄田井委員

データから、麦の作付けが拡大している理由として考えられるのは何か。

事務局

本事業は農業用水の確保が主たる目的なので直接的な理由ではないが、農業農村整備として広い意味でとらえると水田の汎用化であると考えられる。

諸泉委員長

他にいかがですか。

佃委員

岡山県産の作物のうち海外輸出している作物はあるのか。

事務局

データを確認していないが、0ではないと思われる。

どういう作物を海外輸出しているかは調べてみないとわからない。

佃委員)

資料 4-4 の P31 の食糧の安定供給の確保に関する効果に、海外輸出して作物の効果は含まれるのか。

都築農村振興部長

作物生産効果の中に含まれる。

なお、農水本省に一つの局を設置するなど、国として作物の海外輸出に力をいれているところ。

桃、水産物など、岡山県内にも海外輸出している作物はたくさんあるけれども、本地区のエリアは比較少ないエリアと思われる。

事務局

本地区内の作物で海外輸出している作物があるか確認するとともに、効果に反映されているかも確認する。

諸泉委員長

他にいかがですか。

河口委員

資料 4-2 の P83 について、「・・・土砂溜や魚の避難場所（魚巣ブロック、ワンド）を確保する等ネットワークを保全・形成し、・・・」との記載があるが、当地域でのネットワークとは、土砂溜や魚の避難場所の確保することなのか。一般的な生態系のネットワークである移動経路とは異なるのではないか。

事務局

P84のように、水路から水田に移動、水路と河川がクロスしているところを移動可能ということでネットワークという表現を使用している。

都築農村振興部長

日本語として繋がっておらず、誤解を与える表現なので、文章を再考する。

諸泉委員長

ほかによろしいですか。

全体を通してよろしいですか。

本日の全ての議事も終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

事務局

委員のみなさま、ご審議大変ありがとうございました。

様々なご意見をいただいておりますので、検討を行い、次の検討会でご説明を差し上げたいと思います。

それでは、最後に委員長であります農村振興部長の都築よりご挨拶申し上げます。

都築農村振興部長

本日は、熱心のご議論ありがとうございます。

現地調査、検討会において、貴重なご意見をいただきまして、次回の検討会までに整理し説明したいと思います。

本年度の再評価と事後評価はもう1地区ありまして、明後日、明々後日に斐伊川沿岸地区の現地調査と検討会を予定しておりますので、お忙しいこととは思いますがよろしくお願いたします。

本日は、誠にありがとうございました。

事務局

これもちまして、令和5年度中国四国農政局国営等再評価及び事後評価技術検討会を終了させていただきます。

本日は、ありがとうございました。

(参考) 中国四国農政局事後評価技術検討会の概要 (国営事業再評価)

1 日 時

令和5年6月5日(火) 16:30~17:15

2 場 所

岡山拠点3階会議室

3 出席者

【中国四国農政局事後評価技術検討会】

諸 泉 利 嗣	国立大学法人岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授
河 口 洋 一	国立大学法人徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授
駄田井 久	国立大学法人岡山大学グローバル人材育成院 准教授
佃 俊 子	東讃地区生活研究グループ連絡協議会 会長

【中国四国農政局国営等事業管理委員会】

都 築 慶 剛	農村振興部長
川 嶋 等	農村振興部 土地改良管理課長
愛 宕 徳 行	農村振興部 水利整備課長

【事務局】

西 村 夏 郎	農村振興部 設計課事業調整室長
神 馬 勇 雄	吉井川農業水利事業所長
下 岡 正 和	吉井川農業水利事業所工事課長

4 提出資料

- ・ 議事次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 資料 2 令和 5 年度国営土地改良事業等再評価の概要
- ・ 資料 4-1 再評価結果書（案）
- ・ 資料 4-2 再評価 基礎資料（案）
- ・ 資料 4-3 再評価 事業の効用に関する説明資料（案）
- ・ 資料 4-4 再評価 説明資料（案）
- ・ 参考資料